



平成 20 年 5 月 16 日
内閣府 沖縄振興局
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

G8科学技術大臣会合「環境とエネルギー問題」ワークショップ in 沖縄の 開催について

標記について下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成20年6月14日(土)
2. 場 所 琉球大学法文学部 新棟 215教室
(沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)
3. 主 催 沖縄科学技術研究基盤整備機構、琉球大学、
台湾中央研究院、ローレンスバークレー国立研究所
4. 後 援 沖縄県
5. 概 要 北海道洞爺湖サミットに先立ち、地球規模の課題の解決に向けた科学技術協力の強化などについて話し合うため、主要国(G8)史上初めてとなる科学技術大臣会合が6月15日に沖縄で開催されます。会合のプレイベントとして開催される本ワークショップでは、「環境とエネルギー問題」をテーマに、ノーベル賞受賞者を含むゲストスピーカーによる講演などを通して、いまなぜ科学技術が必要なのか、地域間・国際協力の可能性について考えます。
6. 受講対象者 高校生(100名)・大学生(100名)・一般(50名)
7. 参加料 無料
8. 申込期間 平成20年5月19日(月)～5月30日(金)
但し、定員に達し次第締め切ります。
9. 申込先 琉球大学 学術国際部 研究協力課 地域連携推進室
電話: 098-895-8019, 8031 FAX: 098-895-8185
月～金 8:30～17:15(土・日・祝祭日及び)
10. 取材方法 別紙①の取材要領に従ってください。

【報道機関本件問合せ先】

内閣府沖縄振興局 新大学院大学企画推進室 新田

電話(代表) 03-5253-2111 E-mail: koushi.nitta@cao.go.jp

FAX 03-3581-0952

G8科学技術大臣会合「環境とエネルギー問題」ワークショップ in 沖縄
取材要領

1. 取材が可能なセッション

取材及びカメラ撮りは、以下のセッションにおいて可能です。但し、テレビカメラについては1社につき1台までとさせていただきます。

9:00～9:10	開催者挨拶
9:10～14:00	各講演者による講演（但し、12:00～13:00 昼休憩）
14:00～15:00	パネルディスカッション

※上記いずれのセッションにおいても日英同時通訳あり

2. 登録

6月12日（木）までに本件問合せ先に必ずご連絡ください。事前連絡のない場合は取材をお断りする場合があります。

当日、入場される方は、全員必ず報道機関の腕章を着用してください。腕章のない方は、会場警備の都合上、入場をお断りする場合があります。

3. 撮影場所の指定

撮影場所については、当日、現場係員の指示に従っていただくようお願いいたします。

4. 音声の収録

音声ジャックを準備する予定です。なお、カメラ撮りの希望が多い場合は、音声の分配をお願いする場合がありますので、ご承知置きください。

また、ガンマイク等の使用も可能ですが、音声の収録に当たっては、くれぐれもプログラムの進行の妨げにならないよう配慮をお願いします。

5. 参加者への個別インタビュー

教室内での個別インタビューはご遠慮ください。

学生や一般参加者への個別インタビューについては、事前に本人の了解を得て行ってください。

6. 留意事項

報道関係者控え室はありません。

7. 参加予定者及び講演タイトル

別紙を参照ください。

G8科学技術大臣会合「環境とエネルギー問題」ワークショップ in 沖縄
参加予定者（平成20年5月16日現在）

1. 開催者

シドニー・ブレナー博士
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構理事長
2002年ノーベル生理学・医学賞受賞

2. 講演者

有馬朗人博士
財団法人日本科学技術振興財団会長、元文部科学大臣
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員会共同議長
講演タイトル：「安全な原子力を使わざるを得ない。
そして税金を払ってでも新エネルギーを」

スティーブン・チュー博士
ローレンスバークレー国立研究所所長・1997年ノーベル物理学賞受賞
沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員会委員
講演タイトル：「エネルギー問題とその解決のために私たちができること」

北野宏明博士
ソニーコンピューターサイエンス研究所副所長
沖縄科学技術研究基盤整備機構スペシャルアドバイザー
講演タイトル：「気象変動とエネルギー問題に対する生物学的アプローチ」

李 遠哲博士
台湾中央研究院名誉会長・1986年ノーベル化学賞受賞
沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員会委員
講演タイトル：「アジア太平洋諸国の自覚と協力」

3. パネルディスカッションモデレーター（司会進行役）

ロバート・バックマン博士
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構理事